

家庭ごみ有料化の中止を求める署名

金沢市長 山野 之義 様

年 月 日

◇ 要請趣旨 ◇

金沢市は2017年3月の議会で、家庭ごみの収集を有料化する条例を議決しました。しかし今でも、市民の間には反対の声が根強くあります。3月議会に先立つ時期には、有料化に反対する意見書などがくり返し出されました。その後さまざまな場で反対の声は続いており、十分な合意形成がされているとは言えない状況です。

金沢市は「有料化ありき」の考え方をやめ、ごみの減量・再資源化のために何が必要か、市民との協働を推進する立場で、真摯に進めていくべきです。そのためには、古紙回収システムの整備など、やるべきことはまだまだあります。

物価の上昇などで、市民生活はきびしさを増しています。ごみ収集は行政が当然おこなうべき住民へのサービス提供であり、新たな負担増はおこなうべきではありません。

金沢市では、家庭ごみは減少傾向にあります。一人あたり排出量も中核市43市のうち8位で、少ない量に抑えられています。

有料化をしていなくても、ごみの減量・資源化の推進に成功している自治体もあります。金沢市でも、分別の徹底などやるべき課題は数多くあります。

有料化は2018年2月から実施という計画ですが、今からでも中止すべきです。このまま実施すれば、市民の行政への不信感の増大など、多くのマイナス面が懸念されます。

新たな経済的な負担を求めることなく、ごみ行政の充実を図るよう強く求めます。

◇ 要請項目 ◇

1. 家庭ごみ有料化を中止し、分別の徹底など、市民と行政の共同によってごみの減量と資源化を推進していくこと。

氏名	住所